

宇都宮共和大学の教育研究等環境の整備に関する方針

学生の学修及び自主的な学びや研究活動を支援するとともに、教員の教育力・研究力・社会貢献力を高めるため、ハード・ソフト両面における教育研究等の環境整備に努めるものとし、以下の方針を定める。

1. 校舎、施設、設備等の整備

バリアフリーへの対応を図るとともに、キャンパス内での事故や災害等を防止するための措置を徹底し、安全で快適、かつ人に優しいキャンパス環境の整備を進める。

学修及び教育研究の支援のため、ネットワーク環境の整備、ICT等機器の充実を進める。

2. 図書館、学術資料の整備

学生が主体的に学ぶことができるよう、図書館やラーニングコモンズ等の快適で能率的な学修環境を整備する。

図書資料は、各学部の教育内容、研究分野をふまえて体系的に収集・保存し、教育研究活動を支援するとともに、キャンパス間の図書館の連携を強化する。

3. 教育研究支援体制の整備

教員の教育研究の質的向上と研究活動の活性化を図るため、研究専念時間の確保、研究費、個人研究室、特別研究制度（サバティカル）、その他必要な教育研究支援体制の充実に努める。

また、公的研究費や外部資金を獲得するための支援体制を整備するとともに、適正な研究が行われるように、研究倫理の遵守に関する意識の浸透を図る。